

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

- (1) ISO 規格が発行されたもの: 1 件
 ISO 10384(SC 12): 機械構造用熱延鋼帯 (03-01)
- (2) DIS 投票結果および各国コメントが SC へ回されたもの: 1 件
 DIS 10332 (SC 19): 継目無及び ERW 鋼管-水圧試験代替の超音波試験 (03-04)
- (3) DIS 投票が開始されたもの: 5 件
 DIS 4991 (SC 11): 圧力用途用鋳鋼 (02-27)
 DIS 9330 (SC 19): 圧力用途用溶接鋼管-技術的出荷条件 (03-26)
- i) Part 4: SAW 普通鋼及び合金鋼 (高温用)
 ii) Part 5: SAW 普通鋼及び合金鋼 (低温用)
- DIS 10702: N-蒸留滴定法 (03-12)
 DIS 11496 (SC 19): 継目無及び溶接鋼管-管端部の超音波試験 (03-05)
- (4) DIS が登録されたもの: 2 件
 DIS 4955 (SC 4): 耐熱鋼 (03-17)
 DIS 11692 (SC 4) 熱延析出硬化型フェライト・パーライト鋼 (03-16)
- (5) SC が DIS 登録を申請したもの: 1 件
 CD 10124.2 (SC 19) 継目無及び ERW 鋼管-層状欠陥超音波試験 (03-15)
- (6) SC 内で CD 投票が開始されたもの: 3 件
 WI 336 (SC 19): 継目無及び溶接鋼管-浸透探傷試験 (03-13)
 WI 337 (SC 19): 継目無及び溶接鋼管-放射線探傷試験 (03-13)
 WD 11038 (SC 19): 溶接鋼管-原板 (ストリップ) の層状欠陥超音波試験 (03-13)
- (7) CD が登録されたもの: 2 件
 CD 11652 (SC 1): Co-原子吸光法 (03-05)
 CD 11653 (SC 1): Co-電位差滴定法 (03-05)

2. ISO 中央事務局関係

- (1) 会員資格関連
 資格停止中の会員団体はキューバ(NC), ウルグアイ(UNIT), チリ(INN) の復帰により下記の 8 か国に減少。
 ブルガリア(BDS), ガーナ(GSB), イラク(COSQC), アルジェリア(INAPI), 北朝鮮(CSK), ケニヤ(KEBS), ロシア連邦(GOST), ジンバブエ(SAZ)
 イラク, ジンバブエを除く 6 か国は TC 17 の会員団体。
- (2) アニュアル・レポート用必要書類が TC 17 事務局へ送付, レポート配布を 3 月末日までと要請。

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

- (1) 1991 年度 TC 17 アニュアル・レポート完成, 関係先へ送付 (03-28)。
 (2) 第 17 回 ISO/TC 17 総会決議事項の実行状況
- 1) Resolution 5/91: TC 17/WG 19 のコンピューター募集

と作業項目削除に関する回答 (締切り 07-30) は現在までに 4 件。内容はいずれもコンピューターを引き受けず, 作業項目削除可の回答。

2) Resolution 12/91: TC 17/SC 17 の幹事国に中国がなったが, 中国より次の連絡。

・事務局業務を CMSI (China Metallurgical Standardization Research Institute) で行うことが認可。

・現在資金と要員の調整中。

・今年 7 月初め頃 TC 17 事務局を訪問し学習の要望 (TC 17 事務局として歓迎する旨返信)。

3) Resolution 13/91: ISO 9000 シリーズの TC 176 の改正作業のフォローで, TC 176 の Secretary より, 5 月 9, 10 日に本件の会議があるためそれが終了後最新情報を報告する旨の返事を入手。

一方, 日本規格協会より, TC 176 による ISO 9000 シリーズの改正の動きに関して, 下記の documents を入手。

① DIS 9000-2

Generic guidelines for the application of ISO 9001, ISO 9002 and ISO 9003

② ISO 9001 の改正

1992 年改正目標の DIS 9001 及び 1996 年改正目標の Working draft

(3) SC 11

TC 17/SC 11/WG 7,8,9,10 ワーキング・グループ会議開催

日時: 1992-05-04~06

場所: パリ

(4) SC 12

ISO 10384 (機械構造用熱延鋼帯) は, JIS をもとに日本が提案して ISO 規格化された第一号。

(5) SC 19

1) DIS 10332: 継目無及び ERW 鋼管-水圧試験代替の超音波試験

表記 DIS の投票結果が中央事務局より送付されてきた。SC 19 P メンバー投票 賛成 12 票, 反対 2 票 (仏, 独)

ISO 全メンバー投票 賛成 18 票, 反対 2 票 (同上)

*日本は賛成票を投じた。

2) CD 投票開始の件 (投票開始 03-13)

WI 336, WI 337, 及び WD 11038 に関し, 昨年 10 月 29~31 日のミラノ会議での審議結果を反映した Doc. 17/19 N 319, 317 及び 321 が DIS 登録の是非を問う投票にかけられている。

同時に中央事務局に CD ナンバーを要請。

本来, 中央事務局に登録し, CD ナンバーを付与してから回付すべきものである-SC 19 Secretariat の手順前後。

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

(1) Publication stage (Stage 5):

1) DIS 10714 (P-吸光光度法); Proof 作成中。

(2) Approval stage (Stage 4):

1) CD 10702(N-蒸留滴定法); DIS 投票開始 (03-12)。

(3) Committee stage (Stage 3):

1) CD 10698 (Sb-無炎原子吸光法); CD 承認される。
Final CD 作成中。

2) CD 4830-4 (C-燃焼電量法); 6 月のロンドン会議まで取扱い保留。

(4) Preparatory stage (Stage 2):

1) WG 12 (Mn-プラズマ) (CD 10278); コンピーナが共同実験結果報告書作成中。

2) WG 17 (Ca-原子吸光法) (CD 10697-2); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

3) WG 20 (GC-燃焼赤外線吸収法) (CD 10719); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

4) WG 21 (Al-原子吸光法) (CD 10699); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

5) WG 22 (Mn-原子吸光法) (CD 10700); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

6) WG 25 (S-吸光光度法) (CD 10701); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

7) WG 27 (N-融解熱伝導率法) (CD 10720); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

8) WG 28 (Si-重量法) (WD 439); 共同実験結果報告書作成完 (03-13)。

9) WG 29 (Co-原子吸光法) (CD 11652); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。CD 登録 (03-05)。

10) WG 30 (Co-電位差滴定法) (CD 11653); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。CD 登録 (03-05)。

11) WG 31 (Mo-吸光光度法) (WD 4941); 共同実験結果報告書作成完 (03-13)。

12) Ad hoc group (Low C); 予備共同実験結果報告書を WG 内に回付中。

SC 1 内回付中の報告書及び CD は、6 月の第 14 回 ISO/TC 17/SC 1 会議 (London) にて討議。

(5) 関連事項

SC 1 議長・幹事海外出張

1) 出張の目的: ①6 月に開催される SC 1 London 会議の準備打合せ。

②WG leader と Working Draft 及び国際共同実験結果について討議し、London 会議への対応を打合せ。

③London 会議後の SC 1 活動方針及び ICASI (国際鉄鋼分析委員会) の進め方につき打合せ。

2) 出張期間: 1992-03-03~22

3) 訪問先: 下記の規格協会又は関連会社・研究所
France, Italy, Sweden, Germany, Netherlands, UK, Canada, USA

5. TC 67/SC 5 (油井管)関係

(1) ISO/WD 11960 (API 5 CT) -TC 67/SC 5/ WG 1 第 2 回 WG 会議の討議結果に基づき、下記の日本コメントを WG 1 Secretary へ提出

1) Marking 及び Ovality

2) ISO/TR 9769 の採用

(2) 第 2 回 TC 67/SC 5 国際会議の準備

1) Draft agenda を予備的に決定

主要議題は ISO/WD 11960 の承認、他の API documents の取扱い、及び新項目 CRA 油井管等の討議。

2) 国際会議場 神戸国際会議場の仮予約 10 月 19 日~23 日

(3) Fast track DIS (迅速処理方式) についての日本意見の取りまとめ

DIS 10400 (API Bul 5 C 3) ISO/TR type 3 化

DIS 10405 (API RP 5 C 1) 提出されたコメントは改正時 TC 67/SC 5 で取り扱う

DIS 10422 (API Spec 5B) DIS 10405 と同じ扱い

以上のコメントを提出するのみにして TC 67 Secretariat 主催の ISO/TC 67 Ad hoc WG (1992-05-11/12 開催) には出席しない。

6. 国内会議

3 月 18 日 TC 67/SC 5 諮問部会

7. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

4 月 27 日~30 日 TC 17/SC 20 国際会議 (パリ)

5 月 27 日~28 日 TC 17/SC 9 国際会議 (ロンドン)

6 月 15 日~19 日 TC 17/SC 1 国際会議 (ロンドン)

